ショートセミナー 採用コストを削減する方法

2022年11月吉日



採用コストの削減でやりがちな代表例

ポイント

☑ 自走するために必要なコストを割くべき

☑ 各採用サービスの担当者任せにしないこと

エージェント費用

- ・"魚の釣り方"は教わらないので依存体質になる
- ・採用ペルソナに沿った人材とは限らない

(2) DR戦略

- ・運用方法を自社で確立まで時間がかかる
- ・軌道に乗るまで工数がかかるので頓挫する可能性有り

③ 求人媒体見直し

- ・求人媒体では無く、自社運用に問題がある
- ・採用したい学生が使う求人媒体を利用できていない

主な採用コストの削減視点

- 採用目的の明確化
- ・事業戦略から逆算した採用計画を緻密に策定する
- ・不必要な人材を募集しない
- ■選考設計の整理
- ・選考中の採用ミスマッチを防ぐことで採用コストは削減できる
- ・各選考の目的や質問内容などを整理する
- 求人媒体の効率的な運用
- ・求人媒体の特徴に合わせた運用が必要
- ・求人媒体に採用活動のどの課題解決を求めるのか整理

採用コストの削減パターン

ポイント

- ☑ 内製化できるもの、外製化できるものを見極める
- ☑ 将来的に内製化するための一定期間の外出しは◎

外部コストの一例

- ・求人広告費
- ・会社説明会の費用
- ・採用ホームページの製作費
- ・会社紹介資料の制作費など

内部コストの一例

- ・採用担当者の人件費
- ・社員紹介(リファラル採用)へのインセンティブ
- ・内定者懇親会などの運営費など

最後に

■ カウンセリング受付中

オンライン(30分程度)で対応いたしますのでホームページもしくは以下までご連絡ください。

https://www.facebook.com/seiichiro.haraseiichiro_hara@edu-studio.co.jp

■ テーマ募集

やってほしいテーマがあればご連絡ください。

